別紙-1-①

(1) 現状の水害リスク情報や取組状況の共有

① 情報伝達、避難計画等に関する事項

項 目	各市町における課題など
避難勧告 等の発令 基準	・小貝川の中郷水位観測所では、氾濫危険水位等の基準水位が設定されていないので避難の判断には使えない。 ・今回の水害により、発令基準の見直しが必要となった。 ・避難勧告等の発令の判断基準(具体的な考え方)を整理する必要がある。 ・避難の判断基準となる水位に達する前でも、避難すべきような危険な状況になる可能性がある。 ・避難勧告と避難指示の使い分けが難しい。 ・降雨や水位の見込や予想をするのは難しい。 ・特に深夜、早朝の避難勧告発令の見極めが困難。 ・河川の水位上昇時には、同時に内水氾濫や土砂災害、倒木等の対応もしているため河川のみを注視できない。
	避難所の駐車場スペースが不足しており、冠水もしていた。
	・避難経路については設定しておらず避難方向を設定していたが、避難経 路を具体化していく必要がある。 ・平坦な地形のため、避難方向の指示は可能でも浸水を回避しての避難経
避難場	路の指定は困難。 ・地区によっては、適切な避難所や避難場所がないことから広域避難を検
所・避難 経路	討する必要がある。
小工工口	│・洪水ハザードマップの全世帯配布をしたが、あまり活用されていないの │では。
	- 避難路が浸水している場合、迂回路がない世帯が孤立する恐れがある。
	・防災行政無線が聞こえにくい。 ・防災行政無線は、豪雨時の雨音や濁流の音で聞き取れない恐れがある。
	• 国で検討しているスマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供や
	プッシュ型情報の発信が必要。 ・緊急速報メールの配信には、携帯会社ごとに入力の必要があり最低三人
住民等へ	の人間が必要。
の情報伝	・避難情報の伝達手段は複数確保しているが、運用する方法や人員の整備 ができていない。
達の体制	・防災行政無線と連動して、戸別受信機や防災ラジオを整備し難聴地域を
や方法	解消する必要がある。 ・複数の情報伝達の体制や方法をとっているが、全ての住民へ周知できて
	いるのか不明。
	│・外国人への情報伝達が必要。 ・各機関からのFAXやメールが多く、情報の精査が困難となっている。
	・避難勧告等が発令されても、避難行動を起こさない住民への対応が課 題。
	- 消防団員等の生命を守るため、避難誘導時の待避の見極めが必要。 - 早めに避難する場合には車両での避難が想定されるため、誘導方法その
 避難誘導	ものの検討が必要。
体制	│・避難誘導マニュアル等を早急に整備する必要がある。 │・各組織と連携して、迅速な避難誘導のための準備や訓練が必要。
	・避難行動要支援者の避難誘導方法が課題。
	・水害が広範囲に及ぶ場合には、各員が連携をしても人員が不足する恐れがある。
	・市民一人一人の避難の意識の向上が必要。

②水防に関する事項

項目	各市町における課題など
河川水位 等に係る 情報提供	 提供する情報が、専門的な表現にならないよう注意する必要がある。 水位等の情報を得た時に、情報共有の有り方を検討する必要がある。 有線電話や携帯電話が使えない場合の連絡手段の確保方法を考えておく必要がある。 あわただしい中でいかに正確に迅速にできるか。
河川の巡 視区間	 巡視区域が広域圏であるため、1日での巡視は時間的に厳しい。 巡視のための必要な人員確保が、消防団等では難しい。 決壊するような猛烈な増水時は、巡視や土のう作業などには危険を伴うため安全対策を考える必要がある。 担当者の安全管理を徹底していく必要がある。
水防資機 材の整備 状況	・ライフジャケットなど、装備の充実が必要。・現在の備蓄では不完全であるため、今後計画的な整備が必要。・資機材については、定期的な点検管理が必要である。・水防資機材の種類や数量を検討し見直していく必要がある。
市町村庁 舎、災害拠 点 病院等の水 害時におけ る対応	・想定最大規模降雨における浸水深などの被害想定により、再検討する必要がある。・庁舎については、今後同規模の災害が発生した際に被害が最小限にとどまるような水害対策を行う必要がある。・どちらも高台に位置しているので、課題になることはないと思われる。

③氾濫水の排水、施設引用等に関する事項

項目	各市町における課題など
排水施設、 排水資機材 の操作・運 用	●排水樋管への排水ポンプ等の施設整備が必要である。●大雨等の緊急時の樋管等の開閉責任者の明確化が必要。●水門を閉めた際、地区市民への周知方法が課題。●排水樋管を閉じると、内水がはけなくなるなどの問題が生じる。

別紙-1-2

(1)現状の水害リスク情報や取組状況の共有

八千代町洪水ハザードマップにより 圏知 避難指示:
() 現然川及に内具川の水位観測
() 現然川及に内具川の水位観測
所の水位が経済高、以は降後地盤
あ)に到達する恐れが高い場合(超 水・塩水のおそれのある場合)。
(2) 環境化金額の指行や最製・すべ。 第2万場や超流が発生した場合 (3)決壊や超流が発生した場合 (4)経門・水門等の施設の機能支障 が発見された場合 ※(4)の場合は避難対象エリアを履定すること。 の場合 ③城防から漏水等の派生の可能 性が簡まった場合 ④漏水等が発見された場合 つくばみらい市鬼怒川・小貝川洪水 ハザードマップ(ホームページにも掲 市職員、消防団員、自主防災艦線が「市職員、消防団員、自主防災組織が 連携して、危険な地域から安全な地、連携して、危険な地域から安全なお、 域へ避難誘導に努める。 域へ避難誘導に努める。 つくは市 画 河川が氾濫注意水位を突破し、氾濫 河 ・ 危険水位に近接すると認定される等 頂 に 洪水のおそれがあるとき。 ハザードマップ改訂中 (1) 建國の跨導は 業務官 消防 市職員 運搬費 消防 市職員 消防国 自主的 計學等 消防 市職員 消防国 自主的汉籍職 自 (2) 化砂 四月 中断 (2) 中部 (2) 中 報告所は「新年的なインプ・A・D、D、から存むのない個別のコニュー、米タッサ・ドインプを全世帯に配布 機能により開発した。 連載を持てついては、米美元。 ・ 2、本書のようによりには、米美元。 ・ 2、本書のようには、特別にいた。 レストンデーストラインをよりにある。 高水低がでいる。 高水位がら「経験物もの発や」に改 かる。 ただし、今回の水害により、再度、 内容の見直しの上で地域防災計画 へ反映予定 情報伝達、避難計画等に関する事項 一人的被害の9条生する可能性が非常 ※ 「人的被害の9条生する可能性が非常 ※ 「「高いと市長、体部長」が判断した 「高いと市長、体部長」が判断した 「集場合は、避難指示に切り替える。 (1) 出資金を指揮している。 関連を指揮性である。 関連を発表し、空になり上昇の 関連をが発表し、空に水の上昇の 関連を発表し、空に水の上昇の 関連を発表し、空に水の上昇の 関連を発表し、空に水の上昇の を表して、 があるとか。 対象のるとか。 対象のるとか。 対象のるとか。 対象のるとか。 対象ののでは、 が表して、 がままれる。 のまれる。 の 小中高等学校、公園、ふれあいセンター等の公共路設 浸水深により高さ指定あり 住民等への 情報伝達の 体制や方法 避難勧告等 の発令基準 避難場所 避難経路 避難誘導 体制 **E**

八千代町 市町村から水防団への記載なし		発売日の象さ年の反撃な行の関係などの関係を はっぱん はっぱん はんしゅう はんしゅん はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんし	ハ千年円を建るが影響・工業機を2500歳のほか、バイル抗等 土業後2500歳のほか、バイル抗等	医碘秋腊活动醛膏計画の記載為9.	ハ子代町 エンジンボンブを記載。
つくばみらい市 市役所から関係機関団体への連絡 市町村か ※結本に				災害害事本語の診臓の診臓がある 医・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	つくばみらい市 原業用がなどの経管等を増工してエンジンが ※資料なむ。
集西市 市町村から水防団への記載なし 本		条が国の後十年も原西などの記載 なり	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	本作画で記載を開びます。 ・ 作画では、 ・ (選大部に関係す) ・ (選大部に関係す)	無 一
中令市 「「「「「」」 「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」	(では、) はない (では、)	関加が上野に対象、以保護が共化の大学に対象が、対象に対象が、対象に対象が、対象に対象が、対象に対象が、対象に対象が、対象に対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対	作成済み土最のストック	特(ごなし。	中全市 国主文語をから豪称を受けた排水。 報管の操作による。
つくば市 可川水位の上昇が予想されるとき + 小目川 桜川 - 鈴鹿された水位	海 地名 佐藤 (東京 大学) (1977年) (1974年) (19	今回、保いる本位顕著書及の 大の諸面の本位状態を指する 今での河川本田銀による直接を行っ になる。	市の実施の旧野村プビルが政権を行っている。 対象庫の設備を行っている。	市内攻害処果解除・追求メデカン・ウンケー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	つ人は市
取手市 木坊田や市政協力員へは、市消防 本部の ままがる	##―――――――――――――――――――――――――――――――――――	海防国際な金銭区の当銀三年平人・東三年年の連邦を実施している。		次回の対象が開発する研究所 大型の対象が開発の関係が 内容の関係が分し、 にているが が対象が再発し、 にているがあり、 が対象が再発し、 にないるがあり、 が表現に乗り、 にないるがあり、 が表現に乗り、 にないるがあり、 にないるがないるがないるがないるがないるがないるがないるがないるがないるがないるが	第十市 F PG 142の指数を発送しる。 第一中の計算を発送しる。 中に対象を発送しる。 中に対象を表現があり、 中に対象を表現があり、 中に対象を表現があり、 本のが同じが同じました。 本のが同じました。 まのが同じました。 まのが同じました。 まのが同じました。 まのが同じました。 まのが同じまのが同じました。 まのが同じまのが同じました。 まのが同じまのが同じまのが同じました。 まのが同じまのが同じまのが同じまのが同じました。 まのが同じまのが同じまのが同じまのが同じまのが同じまのが同じまのが同じまのが同じ
本様子 災害対策本部から、直接消防田へ 油総、会等、存後主路「し」、7下半計	で、 原稿 女 原 している。	浦部四の1847年17月第四に ・ 「連び四元を毎年度などを 等はも今年でいる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	土養80,000袋、縛80ks程度など	医療牧護活動装備計画の記載あり。	子の様子 おり おり たり たり
下表市 今後、提供できるように調整中。提 出力変も存実主的「コンプは終計		最高度 西京・ドバン・C 放射力・ ・大いで、 瀬町回の 連収 イニアン・C 瀬町の 海が イニアン・ 作業 ほ 予 流 ・	土筆8.250段、鎌15巻、シート44枚な 。 ど	特になし	下ま市 でいる報答のみ) でいる報答のみ)
植ケ峰市 市災害対策本部より直接市消防団 へ連終	단병		工業 1,000 禄以上, 輔10kg以上, 佐, 工業 1,000 禄以上, 佐, 区,	特になし。	る事項 能力情化 指外情化水滋脂-能整維隆-能 分/均工事表所/含土物改良区等 が管轄。
結城市 防団(消防団) 事務局職員に防災 政報総を選「アを水位裁領」と「	- John William (大の状況がより大幅です。) (大幅をする) (大幅をする) (大地でする) (大地できたる) (大地できたんな) (大・地できたんな) (大地できたんな) (大地できたんな) (大・地できたんな) (大・地できたんな) (大・地できたんな) (大・地できたんな) (大・地できたんな) (大・地できたんな) (大・地できたんな) (大・地できたんな) (大・地できたんな) (防衛所合同巡 1.1.相当区域が 巡視する。 巡視する。	上辦珍斯等華门兩時,	現状のハゲードマップでは、被害を受ける経路はない。	非水、施設引用等に関す 結集市 ^{施設・}
—	河川水位等に係る 情報提供	河川の巡視区間	米 の 整備 状況	市町村 舎、災害抱 点病院等の 水声病に等の ける対応	 ③氾濫水の排水、 項 目

(1)現状の水害リスク情報や取組状況の共有

①情報伝達、避難計画等に関する事項

項目	茨城県	気象庁	国土地理院	関東地方整備局
避難勧告 等の発令	• 県が管理する洪水予報河川等では、茨城県と気象庁が共同で洪水予報を発表し、自治体への連絡と報道機関等を通じて住民への周知を行っている。	• 同左		• 国土交通省と気象庁 が合同で洪水予報を発 表し、自治体への連絡と 報道機関等を通じて住 民への周知を行ってい る。
基準		 気象警報・注意報を 発表し、現象ごとに警戒 期間、注意期間、ピーク 時間帯、雨量などの予想 最大値等を周知。 		・ 災害発生の恐れがある場合には、国交省事務所長から関係自治体首長に対して情報伝達 (ホットライン)をしている。
避難場所• 避難経路	• 浸水想定区域図を作成し公表するなど、自治体が作成するハザードマップの作成支援。		ハザードマップポータ ルサイトにより、浸水想 定区域図、道路冠水想 定箇所、洪水ハザード マップ等を公表してい る。	• 浸水想定区域図を作成し公表するなど、自治体が作成するハザードマップの作成支援。
住民等へ の情報伝 達の体制 や方法				
避難誘導 体制				

②水防に関する事項

<u> </u>	りんの子が			
項目	茨城県	気象庁	国土地理院	関東地方整備局
河川水位 等に係る 情報提供	・ 基準観測所の水位に より水防警報を発令。			・ 基準観測所の水位に より水防警報を発令。
河川の巡 視区間	• 出水時には、河川管 理施設を点検するため 河川巡視を実施。	• 出水期前に、自治体、 水防団等と洪水に対しリ スクが高い区間の合同 巡視を実施。		・ 出水期前に、自治体、水防団等と洪水に対しリスクが高い区間の合同巡視を実施。・ 出水時には、河川管理施設を点検するため河川巡視を実施。
水防資機 材の整備 状況	• 庁舎等に水防機材を 備蓄。			・ 事務所、出張所、防災 ステーション、水防拠点 に水防資機材を備蓄。
市町村庁 舎、災害拠 点病院等の 水害時にお ける対応				

③氾濫水の排水、施設引用等に関する事項

		A- A- 1		
項目	茨城県	気象庁	国土地理院	関東地方整備局
排水施 設、排水 資機材の 操作・運用				・ 堤防決壊の当日から 八間堀川排水施設の操 作、排水ポンプ車等によ る大規模な浸水の排水 作業を実施。全国の地 方整備局の応援により、 日最大51台のポンプ車 を投入し、10日間で宅地 及び公共施設等の浸水 が概ね解消した。

〇概ね5年で実施する取組

	は体的な取組の柱	- 04×1/11						:	実施	する	機関					地
	事項	主な内容	目標時期	結城	龍ケ	下妻	常総	取手	つく	守谷	筑西	つ みく らば	八千	茨城	国	域住
	具体的取組			市	崎市	市	市	市	ば 市	市	市	市	代町	県	<u> </u>	民
)ハード対策の主な取組															
	■洪水を河川内で安全	に流す対策	T													
	< 鬼怒川> ・決壊箇所の堤防整備 ・溢水箇所の堤防整備 ・漏水箇所の堤防整備 ・漏水他区間の堤境防防防 備(大形橋区間上流) ・その他係より上堤り 備(大形橋区間の流) ・河道畑川 ・小貝防整備等 く八間堀川の河川改修	•堤防整備、河道掘削、河川改 修等	人 2											0	関東地整	
	■危機管理型ハード対	策														
	<小貝川> ・天端の保護 ・裏法尻の補強	・天端の保護 ・裏法尻の補強	H29年度 H30年度												関東 地整	
		、排水活動に資する基盤等の)整備													
	・雨量・水位等の観測 データ及び洪水時の状況 を把握・伝達するための 基盤の整備	・雨景・水位笙の観測データ及	H28年度から 順次実施												関東地整	
	・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	H28年度から 順次実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	・水防活動を支援するための新技術を活用した水 防資機材等の配備	・水防活動を支援するための新 技術を活用した水防資機材等 の配備	H28年度から 順次実施	_	0	_	0	_	1	_	0	0	0	0	関東 地整	
	・簡易水位計や量水標、 CCTVカメラの設置	・簡易水位計や量水標、CCTV カメラの設置	H28年度から 順次実施											0	関東 地整	
	・浸水時においても災害 対応を継続するための施 設の整備及び自家発電 装置等の耐水化	・浸水時においても災害対応を 継続するための施設の整備及 び自家発電装置等の耐水化	H28年度から 順次実施	_	0	_	0	_	_	0	0	0	_			
2)ソフト対策の主な取組	①逃げ遅れゼロに向けた迅	速かつ的確な	よ避難	惟行	動の	ため	の取	組							
	■広域避難を考慮したん	ハザードマップの作成・ 周知	等													
	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーション(鬼 怒川・小貝川・八間堀川) の公表	・鬼怒川洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの策定・公表 ・小貝川洪水浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの策定・公表 ・八間堀川洪水浸水想定区域 図、氾濫シミュレーションの策 定・公表	H28年度 H28年度 H29年度											0	関東地整	活用
	・広域避難計画の策定	・協議会の中で広域避難計画 (案)を策定	H29年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	関東 地整 気象庁 地理院	活用
	広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知	・想定最大外力にもとづいた洪水を対象に、広域避難計画も反映した洪水ハザードマップを策定する	H30年度から 順次実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			活用
	・まるごとまちごとハザー ドマップ整備・拡充	・公共施設や電柱を中心に、看板の設置を検討していく	H28年度から 順次実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			活用
	- 要配慮者利用施設の避 難計画の作成及び訓練 の促進	・要配慮者利用施設の避難計 画に水害を位置づけていく	H28年度から 順次実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			活用
	・ハザードマップポータル サイトを活用した周知サ ポート、地図情報の活用	・ハザードマップの周知のサポートとして、ハザードマップ ポーサルサイトや地図情報を提供する	H28年度から 順次実施												地理院	活用

○:実施予定 、●:実施済み、一:対象なし

2)ソフト対策の主な取組	①逃げ遅れゼロに向けた迅	速かつ的確な	避難	推行፤	動の	ための	の取	組							
	■避難勧告の発令に着	目したタイムラインの作成														
	・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	・現在試行段階であるタイムラインを、検証し見直しを図っていく ・チェックリストを活用したタイム ラインを国と協同し策定する	H28,5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	関東 地整 気象庁	
	・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	・ロールプレイング等の実践的 な訓練を実施、もしくは検討を行う	H28年度から 定期的に実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	関東 地整 気象庁 地理院	参 加
	・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」 の情報提供 ・メッシュ情報の充実化	H29年度から 順次実施												気象庁	活用
	■防災教育や防災知識	の普及														
	・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の 設置	・ハザードマップの見方などの水 災害の事前準備に関する問い 合わせ窓口の設置する	H28.6から 順次実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	関東 地整 気象庁 地理院	
	・水防災に関する説明会 の開催	・水防災に関する説明会を開催する	H28年度から 順次実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	関東 地整 気象庁 地理院	
	・教員を対象とした講習会の実施	・授業を実施する前に担当教員 にも水災害の知識を身につけて いただくための講習会を実施す る。	H29年度から 順次実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	関東 地整 気象庁	
	・小学生を対象とした防 災教育の実施	・小学校の総合学習授業の中で、水災害教育に取り組んでいく	H28年度から 順次実施	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	関東 地整 気象庁	参加
	・出前講座等を活用した 講習会の実施	・出前講座等の要望があれば積極的に参加し、防災知識の普及 啓発活動等の支援を実施	H28年度から 順次実施											0	関東 地整 気象庁	参 加
	・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	・プッシュ型による情報発信(洪水予報等)の実施	H28年度から 順次実施												関東 地整	活用
	・水位計やライブカメラの 情報をリアルタイムで提 供	・水位計の情報やライブカメラの 映像をリアルタイムで提供	H28年度から 順次実施												関東 地整	活 用
2)ソフト対策の主な取組	②洪水氾濫による被害の軽	減、避難時間	の研	霍保0	りたと	かの 7	水防	舌動	の取	組					
	■より効果的な水防活動	動の実施及び水防体制の強化	<u>'</u> 'L													
	・水防団等への連絡体制 の再確認と伝達訓練の 実施	・無線やメールなどを活用した 情報伝達手段の確保 ・情報伝達訓練等の実施	H28年度から 定期的に実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	・水防団同士の連絡体制 の確保	・近隣の水防団の連絡体制の 確保	H28年度から 定期的に実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスク が高い区間の共同点検	・毎年、国が実施している重要 水防箇所等の共同点検に参加	H28年度から 定期的に実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	関東 地整 気象庁	参 加
	- 関係機関が連携した実 働水防訓練の実施	・利根川水系合同水防訓練及び 鬼怒・小貝水防連合体水防訓練に参加・水防管理団体が行う訓練への 参加	引き続き定期 的に実施	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	関東 地整 気象庁	参加
	・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集	 -広報紙やホームページ等で広 く募集していく	 引き続き実施	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			参加
	指定を促進															,,,,
	指定を促進・地域の建設業者による	・地域の建設業者も組み込んだ水防支援体制の検討を実施し、構築する	H29年度から 順次実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
I -	指定を促進 ・地域の建設業者による 水防支援体制の検討・構 築)ソフト対策の主な取組	・地域の建設業者も組み込んだ 水防支援体制の検討を実施し、 構築する③一刻も早い生活再建及び	順次実施											l		
I -	指定を促進 ・地域の建設業者による 水防支援体制の検討・構築)ソフト対策の主な取組 ■排水計画(案)の作成	・地域の建設業者も組み込んだ 水防支援体制の検討を実施し、 構築する③一刻も早い生活再建及び	順次実施											1		
I -	指定を促進 ・地域の建設業者による 水防支援体制の検討・構築 ンソフト対策の主な取組 ■排水計画(案)の作成 ・排水機場・樋門・水門等 の情報共有、排水手法 等の検討を行い、大規模	・地域の建設業者も組み込んだ 水防支援体制の検討を実施し、 構築する③一刻も早い生活再建及び	順次実施											0	関東整庁院地象理院	

〇:実施予定 、●:実施済み、一:対象なし

対象施設:八千代町役場 本 庁舎 対 応:H17 年度修工 ・庁舎の耐水性種認済(漢水 ・庁舎の耐水性種認済(漢水 ・ 以上のため対象なし ・歌町居布指数において策 だしている選集計画の対象 気楽の中に水準もが撃とし れ位面づけ、選業試験等を 支援 - 防災権線のスピーカーを調整、増設する 【毎年度行政区の意向調査 し、順次実施】 ・減水浸水憩定図の公表 後、検討を行い、公共施設 や毛柱を中心に、表示単板 の設置 [H29年度~] で広域遊離計 八千代町 八千代町 数 洪水道水道院図の公費 1 後、設置に向けた後記を敷 後 施 ・ 超定最大規模障所における状を分割になります。 る状々を対象に、広域避難 る 計画も反映した光水パナー ドマップを第2。 ・ 要配信者施設において策 定している避難計画の対象 が 対害の中に、水害も入れて り いた信き訓練をしていただく よう支援していく [428年度] つくばみらい市 ・野技術を活用した大防資機・野技術を活用した大防資機 材等の設備 対等の設備 [H29年度~] [H29年度~] つくばみらい市 29年度~】 ・敷配価格指数においた策 新している過業計画の対象 気動の中に火帯も対象とし 対象の中に火帯も対象とし 対面がは、過業型豪勢や で 大路 来年度移転予定の本庁舎に ついては、自家発電設備は 屋上に設置 [H29年度] 公共施設や電柱等への表示看板の設置について検討 [平成28年度] ・資水額定区域を要示したハ ザードマップを全戸配布 [H28年4月] 筑西市 筑西市 ・ 範部商者指数において新 だしている選請計画の対象 投着の中に、米海も入れて 対。 とったにお望識をしていただく はより返している。
 「村29年度」
 「村29年度」
 「「T28年度」 米防国(道防国)へ資機材の 充実を図る [H30年度~] 対象施設:守谷市役所庁舎 [H29年度検討予定] 中谷市 中谷市 検討を行う [H29年度] ·洪水浸水器定因の公妻 後、換討を行い、公共施設 日 や電柱を中心に、表示重複 の設置 [H29年度~] 浸水憩定区域内の施設につ いて茨城県に開金を行う [H28年度] つくば有役形は海大部別区 後ではないため対象なし つくば市 つくば市 対象低級:助手市役所本庁・ 合 対応:漫水都定区域外にあ リ、中級:1年より非常用電源 については96時間を確保 以上により対象なし ・聚配度者指限において策 記している過難計画の対象 し 災害の中に水害も対象とし で位置づけ、避難訓練等を 対議 | 漢水漫水憩定図の公表 | 後、検討を行い、公共施設 | や電柱を中心に、表示着板 | の設置 | [H28年度~] ・水防活動に必要と思われる 発展材を活用した水防流機・抹水ボンブ車の購入 発験材を調査し、整備計画 対等の整備を進める (H28年度) [H28年度] 取手市 取手市 ・哲定最大規模協商における る洪水を対象に、広域遊離 対 計画も反映した洪水ハザー ドマップを策定。 [H30年度] ・歌問商者指数において策 所している過麗計画の文像 記 気動の中に米動もが優し 大位面が、道整監議等を 以成 ・公共施設や電柱を中心に、 水害の浸水美額看板(表示) 設置。 [H28年度] 協議会の中で広域避難計 国(素)を策定 [H29年度] 常総市 挑終市 ・洪水漢水憩定園の公表 後、検討を行い、公共施設 か福柱を中心に、表示権を の設置 [H30年度~] ・要配信を指記において新 だしている過載計画の対象 気帯の中に火業も対象とし 対象の中に火業も対象とし 対策 対策 (H28年版~) 84. 一部東地震において、資水器・金貨器本用におけ 所の最適面に後、淡水)、 る当水を発生して高速器 サードマンプを第一、 ドロール (1-23年度第2予定) (1-23年度 第2) (1-2 ・現在・小泉川・利泉川・新港・協議会の中で広域議館計 遊線計画を第定中「H78年 国(第)と策定 度] 「H78年度] 「場議会の中で広域議論計 「関(第)を策定する「H28年 下妻市 下表市 对象结股, 龍ケ崎市役所 庁舎附属標 [H28年度6月30日完成予 定] ・水防団員の安全を確保するための貨機材の充実を図 気を を を を は (H28年度~) ・まることまちことハゲード ・地区的数計画策定に向けてシブについて検討 [H28 数り組み中。「件28年度~] 龍ケ崎市 龍ケ崎市 ・協議会の中で広域遊離計 画(案)を策定 [H29年度] 水防団員の安全を確保す るための資機材の充実を図 結城市 結城市 防災無線の整備 H28年度】 [H28年度~] ・今後、水防資機材の補充・ 追加等の際には、新技術を 活用した水防資機材による 配備充実を図る。 [1428年度~] - 水位計、カメラ、量水橋の 設置 [H28年度中] - 八四級川洋水漆水都定区 域区の策定 [H28年度中] - 公委 [H29年度当初] - 八屋務三 5組シミュアーションの製所 (H29年廃业を) - 諸東地盤、市町と協同し、 繁定を支援 [H28年度~] < 八階 報用 > 八間 福川 の 河川 改修 [H29年度] 茨城県 茨城県 - ハナードマップボータルサイト及び地図情報等の適用 により固知をサポート [H28 年度~] 国土地理院 国土地理院 作成に必要な情報の提供お よび策定を支援 よび策定を支援 [H28年度~] [H28年度~] 気象庁 気象庁 | 事項 | 内容 | 関東地登 | 矢 | ファイ対策の主な影響 ① 選げ遅れせ目に向けた迅速かつの強な経験行動のための影響 - 製定最大機模降商の服務 | 三部盤シミュレーションの会 | 第1728.5| | 一部最大機模降面の小規 | 三記鑑シミュレーションの公 | 表 | 1728.5| 在) 在) 在) (大形線上)下流)[H30年 (大形線上)下流)[H30年 (河道福傳][H32年度] (小月川) - 山北敦雄等[順次車底] <小貝川> 天蟾の保護 [H28年度] 裏法院の補強 [H30年度] 国際行動、水防災等、米水流等に対する基礎等の登録 ・原理・大は神の設定子・2分のボネ、・原理・大は神の設定子・2 至の大は水溶液・指導・大に本の大型・2分の水溶液・2分の水の水溶液・2分の水溶液・2分の水溶液・2分の水の水溶液・2分の水溶液・2分の水溶液・2分の水溶液・2分の水溶液・2分の水。 ・簡易水位計、カメラの設置 【H28年度中】 ・新技術(水の5等)を活用し た貨機材等の配備 [H28年度] 関東地整 〇概ね5年で実施する取組 ■広域遊離を考慮したハザードマップの作成・周知等 ・簡易水位計や量水橋、CCTVカメラの 設置 ・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ・水防活動を支援するための新技術を 活用した水防貨機材等の配備 広域避難を考慮したハザードマップの 作成・周知 ・ハゲードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 ・漫水時においても災害対応を維続するための施設の整備及び自家発電装 音等の耐水化 - 製定最大規模辞用による記憶シミュアーション(監察川・小見川・八間堀川) の公表 まるごとまちごとハザードマッブ整備・ 拡充 - 要配度者利用施設の避難計画の作 成及び訓練の促進 1.7--ド対策の主な取組 ■洪水を河川内で安全に張す対策 松 広域遊離計画の策定 作機管理型ハー・対策 <小貝川> ・天端の保護 ・展法院の補強 項目事項 項目事項

連目 毎項	各容	関東地整	小參	国土地理院	茨城県	結城市	龍ケ崎市	下兼市	常総市	取手市	つくば市	守谷市	筑西市	つくばみらい市	八千代町
2)ソフト対策	2)ソフト対策の主体取組 ①進げ遅れ仕口に向けた迅速かつ的機な避難行動のための取組 ■超雑制のの発令に着目したタイムラインの布成	れた迅速かつ的確な避難行動の と作成	ための取組												
[y	・遊鐘勧告の発令に着目したタイムラインの作成	イ 作成に必要な水位情報等 の提供 [H28.5末]	- 関東地盤、支城県、市町と 協同し、策定を支援[H285 末]		· 樹東地盤、市町と韓同し、 策定を支援[H285末]	現在の試件版を検証 児童 しして、運用版を策定 [H28.5束]	・タイムラインの策定[H28.5 末]	・タイムラインの策定[H28.5 ・グ 末]	・ウイムラインの策定[H28.5 ・う 末]	・タイムラインの策定[H285 ***********************************	・ タイムラインの策定[H285 *** *** *** *** *** *** *** *** ***	・タイムラインの策定[H285 末]	- 小町川タイムラインは販品 ※4 ・監察=タイムレインを販品 [H78 5]	・タイムラインの策定[H285 末]	・タイムラインの策定[H28.5 末]
12.44	*タイムレインに魅力(値を発も参加した実践的な訓練	トップセミナーの繁盛 (H28 毎度~1 ・自治体監練に参加(H28年 度~1	自治体訓練への参加や支 [[H28年度~]	・ ・ 前様への支援(H28年度 ~]	- 図上型防災訓練のモデルの構築 の構築 - 訓練への参加 [H28年度~]	-	ロー アプレイング 及び選請 下野実 者宣 議事の実践的な 監督登録を実施。 H28 A.5]	ロールプレイング等の実践 別な記録を実施。 H128年度~】 馬水香憩定をした市防災訓練を実施 様を実施 H128年度]	ロールブレイング等の実践 のな訓練を実施。 H28年度~】		郷員の図上訓練を行う P (1/28年度] (1/28年度) (1/28年	- ロー・プレイング等の実験 的な訓練を必要に応じて実 施。 [H28年版 ~]	ロープレフング 単の状態 的な望寒 雑箱の 豪記 1428年度】	ローアゾフィング 等の実践 的な望鏡を実施する。[H28 件版ト]	·ロールブレイング等の来談 的な訓練を実施。 [H28年度~]
1.48	・気象情報発信時の「佐藤度の色分け」 や「警報後の現象」等の改善(水管時 の情報人手のし易さをサポード)		・緊我等における危険度の 毎分け表示 日分け表示 日子 日子 日子 日子 日子 日子 日子 日子 日子 日子 日子 日子 日子												
数 2 2 2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	■防災教育や防災知識の着及 ・水災害の事前準備に関する問い合わ + 窓口の終書	・問い合わせ窓口の設置する	・問い合わせ窓口の対応へ の井ギー	・問い合わせ終ロの対応への非ポート	・問い合わせ窓口の設置する	・問い合わせ窓口の設置する	関い合わせ窓口の設置する	問い合わせ窓口の設置す	間い合わせ窓口の設置す。	間い合わせ窓口の設置する	間い合わせ窓口の設置する	問い合わせ窓口の設置する	・問い合わせ窓口の設置す よ	間い合わせ窓口の設置する人	一間い合わせ窓口の設置する。
9	II M COLUMN	¥°. [H28年度~]	[H28年度~]	[H28年度~]	70° [H28年度~]	₩. [H28年度~]			N28年度~】 [1	7. H28年度~]					5. H28年度~】
le,	水防災に関する説明会の開催	・市町の要請により、出前議 産等を積極的に行っていく。 【H28年度~】	・関係機関と連携し、効果的 な対応を検討する。 [H28年度~]	・地図情報等の基礎的な情報により支援 (H28年度~)	・市町より要請があれば、出 前講座等を積極的に行って いべ。 [H28年度~]	実施を検討する [H28年度~]	·実施を検討する [H28年度~]	·実施各級討する [H28年度~]	- 実施を検討する [H28年度~] [H	·実施を検討する [H28年度~]	· 実施を検討する [H28年度~]	·実施を検討する [H28年度~]	・実施を検討する [H28年度~]	- 実施を検討する [H28年度~]	·実施を検討する [H28年度~]
***	教員を対象とした講習会の実施	・市町の要請により、出前講 座等を積極的に行っていく。 [H28年度~]	・教育委員会と連携し、効果 的な対応を検討する。 [H28年度~]		- 市町より要請があれば、出 耐薬産等を指摘的に行って いく。 [H28年度~]	・学校担当課と調整し、実施 を検討していく。 [H28年度~]	・市内要名中学校において、・ 小長川水災害教育を実施。 【H28年度~】	·下奏市教育委員会とH28 经 年度中に協議予定 [H28年度]	- 市内小中学校の総合学習 - 級業の中心、米災害教育に 取り組んでい、 [1129年度~]	- 市内小中学校の総合学習 - 参楽に取り組むか検討して へいく [H28年度]	多様な災害同様検討していく 【H29年度】	- 実施を検討していく [H29年度]	・小中学校と協議していく。 [H28年度~]	関係機関と連携し後計している。 いん。 [H28年度~]	・町内小中学校の総合学習 授業の中で、水災害教育に 取り組んでいく [H29年度~]
13	・小学生を対象とした防災教育の実施	- 市町の要請により、出前講 産等を積極的に行っていく。 [H28年度~]	・教育委員会と連携し、効果 的な対応を検討する。 [H28年度~]		・ 市町より要請があれば、田・ ・ 車講 職等を積積的15 につて を いく。 [H28年度~]	学校担当課と調整し、実施 (後計していべ。 H28年度~】	- 市内登岩中学校において、 ・ 小見川水災書教育を実施。 【H28年度~】	·下秦市於省委員会とH28 语年集中に抗議予定 短[H28年度]	- 市内小中学校の総合学館 - 協業の中で、米災害数値に 数 取り組んでいく [TE9年版~]	- 市内小中学校の総合学習 接集に取り組むが検討して いく [H28年度]	※つくばスタイルやで実施姿	- 実施を検討していく [H28年度]	・小中学校と協議していく。 [H28年度~]	図係機関と連携し検討して いく。 [H28年度~] 部 [C]	- 町内小中学校の総合学習 海集の中で、水災業教育に 取り組んでいく [H29年度~]
I T	・出前構産等を活用した構習会の実施	- 要請により、出削請座等を 報機的に行っていく。 [H28年度~]	・関係機関と連携し、効果的 な対応を検討する。 [H28年度~]		・要請があれば、出前講座 等を指題的に行っていく。 [H28年度~]										
IV.	ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	・プッシュ型の洪水予報等の 情報発信を行っていく。 [H28年度~]													
154	・水位計 やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	 水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供する。 [H28年度~] 													
2)ソフト対策	2)ファケ対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組 ■・1の料量が大地に乗って実施がよった。	Fの軽減、基難時間の確保のた。 製の注か	もの水防活動の取組												
(字撰	・大郎四等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施					・無線やメールなどを活用 し、情報伝達手段を確保する。 も。 [H27年度~]	消防団が、水防団を兼務し ており、伝達の確認や業務 については、日頃の訓練や 火災張陽等で行っている。 [H28年度~]	·通信体制を見直し、必要な 設備の配備を検討する。 [H28年度~]	- 海防団が水防団を兼務して、水防団等への連絡体制の いる、年間を通してぎ解制機・再確認を行う 中火災政場において行って [1428年展] しいる。		・水防団等への連絡体制の 再確認を行う 【H28年度】 が	・消防団が水防団を兼務して おり、日務の訓練や火災弱 場で行っている。 [H28年度]	6年、水防団の夏季削線 時に実施 [H28年度]	連絡体制を再確認し必要な 設備等検討する。 [H28年度~]	・消防団が、水防団を業務しており、伝達の確認や業務しており、伝達の確認や業務については、日頃の副様や火災現場等で行っている。 [1428年度]
Į5.	・水防回同土の連絡体制の確保					・連絡体制を確保する [H28年度~]	- 建熔体制を確保する [H28年度~]	- 連続体制を確保する [1428年度~]	- 連絡体制を確保する (H28年度~)	·建総体制を確保する [H28年度~]	·連絡体制を確保する [H28年度~]	-建築体制を確保する [H28年度~]	連絡体制を確保する [H28年度~]	- 連絡体制を確保する [H28年度~]	·建総体制を確保する [H28年度~]
学務	・米店団や組み住民が参加する洪大に対し、スクが強い区間の米同点数	重要水防箇所等の共同点 検を実施 [H28.5~毎年]	- 毎年、河川事務所が実施 - 4年、河川事務所が実施 - 4、日本産業大師監所等の共同 - 5を制を加していく [H28.5~]		- 市町及び水防団と共同点 機を行う [H28.5~6年]	・毎年、河川事務所が実施 する重要水防監所等の共同 点後に参加していく [H285~]	毎年、河川専務所が実施 で名乗要米防閣所等の共同 8歳に参加していく H285~】	毎年、河川事務所が実施 ・名重要水防器所等の共居 2歳に参加するよう、水防 消防因)、住民に関知 148.5~】	毎年、河川専務所が実施 る農業米防衛所等の共同 1後に参加していく 1885~]	毎年、河川事務所が実施 ・名重要米防衛所等の共同 8歳に参加していく H28.5~]	毎年、河川専務所が実施 ら編章米防衛所等の状形 3歳に参加していく 1885~]	毎年、河川事務所が実施 する重要水防衛所等の共向 は後に参加してい、 H285~】	毎年、河川事務所が実施 6重要水防衛所等の共同 (後に参加していく	毎年、河川事務所が実施 る難要水防監所等の共同 8歳に参加していく 1285~】	・毎年、周川事務所が実施 方名重要水防筋所等の共同 高級に参加していく [H28.6~]
HK	・関係機関が連携した実働水砂訓練の 実施	○ ·水砂管理団体が行う訓練 ○ · の参加 [H28.5~毎年]	水防管理団体が行う訓練 への参加、支援 [H28 5~毎年]		水防管理団体が行う訓練 への参加 [H28 5~毎年]	・毎年行っている水砂製業の 内部を見直し、東島型計業 を実施 [H28年度~]	n — アプフムソン神の実践 らな遊覧型 添え 4 年度 実施 がる。 H28 g.5]	原大部部またした市政党宣義を 戦略 (1884年) 1987年 - 1987年 - 19	利根川水茶合同水防劃機 以超緊機關が行う水防御 和で参加 単生】	・利服川大系合同大砂間様 及び関係機関が行う大防却 第11参加 【毎年】	新根川水系合西水砂削機 及び関係機関が行う水防削 機に参加 (毎年)	・利根旧水系を同水的訓練 及び観保報間が行う水防削 機に参加 [毎年]	·每年、出水期前に水防劃 線を実施 [H28年度~毎年]	- 利根川水系合同水防訓練 スケ関係機関が行う水防訓 及 女び関係機関が行う水防訓 及 機に参加 (日本年)	·利提川水系合同水砂調練 及び製乐機関が行う水坊加 線に参加 [毎年]
15.48	·水防活動の担い手となる水防協力回 体の募集・指定を促進					·消防団が水防団を兼ねて いるため、消防団員募集を 実施。[諸時]	消防団入団の募集広報を 実施 [H28年度~]	災害協定の締結と併せて、「 水防団員の募集を指当 [H28年度~]	- 伝統系をチームベーツ等 ロ・・ 日 (158年度~) (158年6年度~) (158年6年度~) (158年6年6年度~) (158年6年6年6年6年6年6年6年6年6年6年6年6年6年6年6年6年6年6年6	- 市ホームペーンで水防塩力 洋 田体を募るペーンを作成し、	情防回員の募集を消防回を 置して、臨時募集を実施 H28年度~】	- 広島様 やキーム・シキ た 広々 暴闘していく [128年度~]	·水防協力団体を広報報や ホームページで募集してい く。 [H28年度~]	市井ームムーツや広義等 か響難したいる。 1428年度~]	消防団員の募集を消防団を通して、傾待募集を実施 (H28年度~)
12.6	・地域の建設業者による水防支援体制 の級別・構築					・実施を接討する [H28年度~]	·実施を検討する [H28年度~]	·実施を検討する [1428年度~]	-実施を検討する - 1-1 [H28年度~] H	・実施を検討する [H28年版~]	- 実施を検討する [H28年度~]	·実施を検討する [H28年度~]	・実施を検討する [H84度~]	・実施を検討する [H28年度~] [[·実施を検討する [H28年度~]
2)ソフト対策	2)ソフト対策の主な影響(③一刻も早い生活事業及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の影響 ■様水評画(第)の作品及び株水訓練の影響 ■様水評画(第)の作品及び株水訓練の影響	表及び社会経済活動の回復を可 第	能とするための排水活動の取	By:											
了茶椰	・接水機構・循門・水門等の情報共有 排水手法等の検討を行い、大規模水 署を想定した排水計画(業)を作成	- 排水ボンブの設置個所の 選定まで行った排水計画 (楽)の作成 [H28年度~]	・排水ポンプの設置電所の 選定まで行った排水計画 (楽)の作成への協力 [H28年度~]	- 棒水ボンブの設置個所の 選定まで行った排水計画 (楽)の作成 [H28年度~]	・排水ボンブの設置個所の 選定まで行った排水計画 (薬)の作成 [H28年度~]	・排水ボンブの設置個所の 適定素で行った排水計画 (素)の作成 [H28年度~]	- 排水ボンブの設置個所の - 選及まで行った排水計画 (条)の作成 [H28年度~]	排水ボンブの設置銀形の 通 選定まで行った排水計画 通 (薬)の作成 [H28年度~] [H28年度~]	#水ボンブの設置個所の ・	- 排水ボンブの設置倒所の 選定まで行った排水計画 (薬)の作成 [H28年度~]	- 排水ボンブの設置個所の - 選定まで行った排水計画 (楽)の作成 [H28年度~]	・排水ボンゴの設置個所の 選のまで行った排水計画 (素)の作成 [H28年度~]	様水ポンプの設置衛所の 選定まで行った様水計画 (楽)の作成 [H28年度~]	- 排水ボンブの設置個所の 選定まで行った排水計画 (素)の作成 [H28年度~]	- 排水ボンブの設備歯所の 臓に下で行った排水計画 (薬)の作成 [H28年度~]
T	・様水計画に基づく排水計様の実施	- 毎年、水防訓練と同様に各 自治体特ち回りで実施する [H28年度~]	南年、水財職を回揮に合一由労権訓練への交張[H28 自治体時回リで実施する 年度~] [H28年度~]	·自治体訓練への支援[H28 年度~]	·水防訓練と同様に簡優的 に参加する。 [H28年度~]	·毎年、水防訓練と同様に各 自治体特ち回りで実施する [H28年度~]	・毎年、水粉訓練と同様に各・ 自治体特ち回りで実施する [H28年度~]	・毎年、水防訓練と同様に各 自治体特ち回りで実施する [H28年度~]	- 市防災訓練で実施を検討 ・ ・	- 市総合防災訓練の中で排 水訓練を建り込む。 【平成29年度】	- 訓練の実施を検討 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	有及び自治会の防災訓練の 中に整り込むが検討する H28年度~】	市及と自治金の防災訓練の「毎年、水助訓練と同様に合・ 中に盛込むたか勢討する [H28年度~] [H28年度~]	・大勢加線と合同で実施 [H28年度~] を [T	·町の総合防災訓練で実施 を検討する [H28年度~]